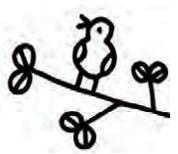


ひだ紀子

100% 市民派



公平・公正な町を目指して! 政党や町内の代表として出たのではなく、私は一人のふつうの市民として議員になり、市民の目線で青梅市を見つめチェックしてきました。この4年間を振り返ると、驚くようなことがたくさんありました。今後30年間で450億円を超える下水道の借金、ずっと随意契約で続けられてきた電算処理の委託、納得できる理由も示されないまま5倍にかさ上げされた病院管理者の退職金、市役所建設の落札価格の高さなどです。こうした情報を市民と共有するために議会報告を出しています。市民が置き去りにされない町を作りたい。いつも100%市民派の気持ちで取り組んでいます。



無関心は 議会をだめにする!

私は裁判や監査請求でムダ使いされた税金を取り返してきました。裁判で〈市長交際費で市長が接待していたのは市議たちだった〉と明らかになった時、市議と市長の間に馴れ合いがあったのだな、と感じました。市長交際費は年間230万円ほど使われていたのが、半分に減りました。議員の政務調査費も領収書添付になってから年間約500万円が返還されています。市民の目が議員を育てます。鍛えます。反対に市民が無関心だと議会はだめになる。私はそう考えます。

市議会では昨年から市民や傍聴に来た方にアンケートを求めたりして市民の声を聞く姿勢を打ち出しています。まだ不十分ですがこの流れは育てていきたいです。



報酬が出る 「議会外ポスト」

多くの議員が議会外のポストに振り分けられて、議員としての報酬のほかに、各種委員会等の報酬を受け取っています。1年間に2回~4回の会議に出てこの報酬ですから時給に換算すると超高額になるものも。

私は青少年問題協議会の委員ですが、市議としての報酬はすでに頂いているので二重取りになると考え、委員報酬を辞退しています。市は法務局に供託しています。



駅前や市内で議会報告を配っています。ご意見・ご感想お待ちしております!



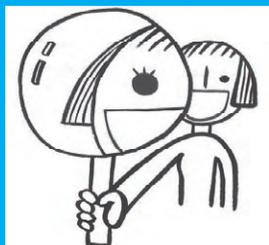
十一市競輪事業組合議会議員	年額552,000円
たま広域資源循環組合議会議員	年額300,000円
西多摩衛生組合議会議員	年額 80,000円
工業用水道企業団議会議員	年額 80,000円
民生委員推薦会・青少年問題協議会・都市計画審議会・広域行政圏協議会審議会委員	会議出席ごとに11,500円

議会内会派名〈みどりのオンブズマン〉 ひだ紀子議会報告 Vol.12 2011. 3

連絡先: 〒198-0171 青梅市二俣尾2-520 フォレスト青梅201
 tel/fax 050-1332-9289 メールmidorionbu@msn.com
 ☆詳しい事はホームページをご覧ください

ひだ紀子で検索できます

ひだ紀子はこうチェックした



おかしいことは おかしいと いえるまち

青梅の自然は私たちの宝物

私の出発点は永山北部丘陵開発反対！の市民運動です。アナグマやムササビの住む森をどうしても守りたかったのです。その後永山は「青梅の森」という里山として市が保全していくことになりました。保全活動をしていると自然の回復力がすごいのだな、と感嘆せずにはられません。多くの市民の参加を!!

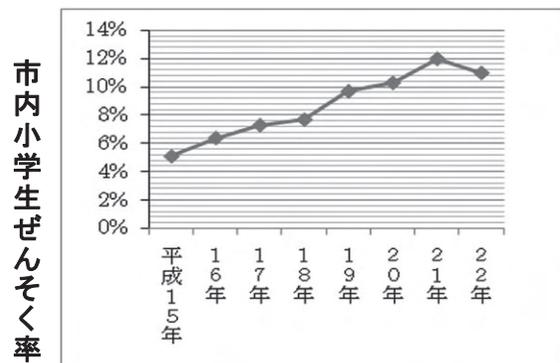


里山保全作業で一休み

子供たちのぜんそく

市内では小学生のぜんそくが増えています。東京都の平均6%を大きく上回っています。

(H20.21一般質問)



※青梅市教育委員会の資料に基づく

データは環境の変化を私たちに教えてください。このデータを市民と市が共有し一緒に考えるしくみを作っていかなければ、と考えます。

教育にお金をちゃんと使おう

「食べるときの姿勢が悪くなる先割れスプーンを今も使っている学校は都内では2.6%」とデータを挙げて給食食器の改善を迫りました。(H20一般質問)

翌21年度から市内の小中学校の給食食器は大きく改善されました。改善案は15年前に検討結果が出ていたのに、食育にかかわる大切なことがずっと放置されてきたのはなぜでしょうか。

23年度は小中学校に冷房を設置する予算案が組まれています。しかし電車やバスで学校に通う遠隔地(御岳・日向和田など)の子供たち全学年への通学費補助は、私も含め複数の議員が取り上げていますがいまだに棚上げ状態です。

大きな道路より 静かな環境を

ケミコン跡地前、そして東青梅から千ヶ瀬へと、道路を拡張する公共工事が計画されています。また千ヶ瀬バイパスの延長も部分工事が始まりました。どれも静かな住宅地を車道で分断するような計画です。これからの青梅にこんな道路が本当に必要でしょうか。私は反対しています。



閑散とした道でも拡張?

職員採用試験 数十年やり方を変えていない

とりわけ面接は大事な試験だと思いますが、市長ら市の幹部が10分程度面接するだけです。市長は「自分の任期中は試験方法を変えない」と言ってます。



納得のいく 税金の使い方を!

遠くまで行かなくても落語や歌を楽しめるように、市民会館で年4回ほど開かれる「市民劇場」。他県の自治体などでも同じショーを主催しているのを比べてみたところ、青梅市が580万円払った〈研ナオコショー〉が他の地域では最大で200万円安く契約されていたと分かりました。(H20一般質問)

長年、特定のプロモーターに集中して契約をしてきたためではないでしょうか。これって馴れ合いの結果ですか? 高いお金を払わされたのは市役所? いいえ、青梅市民です!



まだまだ改善の余地あり 介護認定

要介護度を定める〈介護認定審査会〉は一人一人の資料を読み込み、その人に合った要介護度を決めます。他市では一週間前には各委員に資料を渡していましたが、青梅市では当日渡し。本業で忙しい委員たちはじっくり読みこむことができなかったのでは?



私が一般質問で指摘してようやく一週間前送付になりました。しかし一回の審査会で40件を認定するというのは多すぎます。流れ作業になっているのでは?と心配。他市では「一回の審査会で30件くらいが限度」としているところが多いです。じっくり読みこんで欲しい!

使う人のことを考えた 福祉サービスを

障がいのある方たち約1200人に支給されていた「タクシー券」「ガソリン券」は青梅市では数年前廃止。(存続している市もある)その代替として市は「福祉バス」の利用を呼びかけていますが、利用者は年間わずか90数名。使いやすい制度なのか検証が必要です。